

観一高同窓会 会長挨拶 抜粋

観一高同窓会 会長 観一・4回 三宅 昭二（昭和28年卒）

観一高同窓会京阪神支部の皆さん、お元気ですか。いつも同窓会活動にご理解とご支持を戴き、深く感謝致しております。

（省略中間文書は巨龍21号の11頁同窓会 会長挨拶を参照）

さて、わが母校観一高では、三年前に校舎棟が新改築され、次いで新体育館も今年九月末に完成となっております。（いずれも合田高松支部会長が専務の合田工務店が施工）舞台の緞帳寄贈のための募金は前年度よりはじまっておりますが、二千五百万円の目標に対して、七月末現在では一千六百五十万円程度の集まりになっていて、今年九月末日を期限とすることは無理な状況となりました。観一高は今年で創立百十七周年となりますが、二千五百万円の目標額には、三年後の百二十周年記念行事の費用も含まれているわけです。百二十周年の際には募金活動は行わない取り決めをしている事は、すでにお知らせ申し上げた通りです。また、三中ご出身の田中岑画伯の『凧双つ』の原画による緞帳は、色鮮やかな仕上がりとなってきています。これらを考え、今年末まで募金の期限を延長する事と致しました。

ご意思を持たれている会員各位は一口 5,000 円以上、企業様には一口一万円以上の募金のご協力をお願いする次第です。事情をお含みの上、どうか各年次・支部共にご協力を頂きたく、改めてお願い申し上げます。

以下省略